

2023 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [東浦町立緒川小学校] 担当教諭名 [大庭 佳祐] (6年1・2組 86名)
 相手国・地域 [マダガスカル]
 海外学校名 [The Excelsior School] 担当教諭名 [Ranaivohanta Fanja]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	世界について知ろう	8
	総合的な学習の時間	マダガスカルと交流しよう	6
	総合的な学習の時間 図画工作	デザインを考え、壁画を完成させよう	9

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	はばたこう未来へのとびら みんなが自由な世界へ
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	平和な世界にしていこう 戦争や貧困のない世界にしていこう 生き物が豊かに暮らせる世界にしていこう



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> オンライン交流を通して世界の国々と繋がる喜びを知ることができた。 マダガスカルを中心に世界の国々について関心をもつ児童が増えた。 国際問題を自分事として考える児童が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流が子ども達の気持ちの成長に大きく繋がったと感じたので、もっと交流を増やすと更なる効果が期待できると感じた。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> マダガスカルについて調べたり、オンライン交流をしたりすることを通して、よりマダガスカルや世界の問題を身近なものとして捉えるようになった。 SDGsについて調べることで、今の世界の現状や課題を知り、国際問題について深く目を向けるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン交流で実際に話すことの有用性を感じた。 SDGsについてテーマをしばって考えることで、児童が自分達に何ができるのかとより深く考えることができることに気付いた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月	<ul style="list-style-type: none"> 相手国についてインターネットなどを用いて調べた。 自分の学校紹介動画作成に取り組んだ。 	相手国であるマダガスカルに興味をもち、積極的に相手国のことを調べる姿が見られた。 自分たちのことも知ってほしいという思いももった。	総合2
共有 相手と意見交換	6月 ～ 9月	<ul style="list-style-type: none"> 世界の国々について調べた。 SDGsの目標についてどんなものがあるかを調べた。 	マダガスカルも含め、世界の様々な国について興味をもち調べていた。	総合6
融合 メッセージ作成	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> 日本が行っている取り組みや考えをまとめた。 マダガスカルとオンラインで交流し、意見交換した。 	自分たちの現状を相手に分かりやすく伝えようとしていた。 オンライン交流のために英語を熱心に学ぶ姿が見られた。	総合6
創造 壁画制作	12月 1月	<ul style="list-style-type: none"> 壁画に描きたい絵のデザインをみんなで考えた。 マダガスカルと協力して絵を完成させた。 	どのようなデザインで描いたら自分たちの伝えたいメッセージが伝わるのかを一生懸命考えた。	総合 図工8
評価 振り返り 自己評価	3月	<ul style="list-style-type: none"> アートマイルを通して、SDGsについて学び、振り返りを行った。 	マダガスカルのことをもっと知りたいという思いが高まった。 SDGsの目標を少しでも達成できるように自分たちにできることからやってみようという意欲をもっていた。	総合1

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つけたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化を理解する力	5	オンライン交流を通して、マダガスカルのことをより身近に感じられた。 マダガスカルのことをもっと知りたいという思いをもつことができた。
主体的に考え行動する力	5	SDGsについて調べることを通して、自分達に何ができるのか深く考えることができた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	SDGsの問題について自分なりに考えることはできていたが、客観的・論理的に思考することは、少し難しかった。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	5	自分たちの思いや考えを相手に対して伝えようと一生懸命翻訳するなど、英語学習で学んだことを積極的に活用する姿が見られた。
想いを表現する力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	SDGsについて調べたことをどのようなイラストにしたら自分たちが伝えたい想いを込められるかを相手国と相談し、壁画制作を進めることができた。